



承認図

音声応答転送装置
IVR-2430

株式会社 **タカコム**



仕様書

音声応答転送装置

IVR-2430

株式会社 **タカコム**

商品概要

アナログ一般回線とPBXの間、またはPBXのアナログ内線に接続して使用します。

1、アナログ一般回線とPBXの間に接続した場合

- ① PBXがダイヤルイン機能対応のときは、指定したPBXの内線への転送
- ② NTTボイスワープ機能を利用した外線への転送
- ③ 応答専用機能

の3種類の機能を持っています。

また、これらの機能を自動的に切り替えるプログラムタイマーを持っています。

2、PBXのアナログ内線に接続した場合

- ① フックング転送によりPBXの別内線への転送
- ② 応答専用機能

の2種類の機能を持っています。

また、これらの機能を自動的に切り替えるプログラムタイマーを持っています。

主な機能

1 動作モード

本装置には次の7種類の動作モードがあります。

(1) 選択転送モード

- ① ベル信号に応答するとメッセージを送出します。最初に「挨拶メッセージ」つづいて「総合案内メッセージ」が流れます。これらのメッセージで社名などの案内をします。
- ② つづいて、転送先を案内する「選択転送メッセージ」が流れます。
- ③ 発呼者は、このメッセージの情報から転送先の番号を知り、PB信号で番号を入力します。
- ④ 入力された信号を基に、本装置は疑似ダイヤルイン信号(またはフックング動作による内線信号)を作り、PBXに出力します。
- ⑤ 転送先が話中や不在時は最大3箇所まで追っかけて転送ができます。
(追っかけ転送機能)

(2) ツリー転送モード

- ① ベル信号に応答すると「選択転送モード」と同様に、「挨拶メッセージ」、「総合案内メッセージ」のメッセージが流れます。その後、「案内1メッセージ」を流し転送先を案内します。例えば「部」の番号案内が流れます。発呼者は、PB信号で希望の「部」の番号を入力します。

- ② 次に、本装置は「案内2メッセージ」を送出します。例えば、「課」の番号案内が流れます。発呼者は、PB信号で希望の「課」の番号を入力します。
 - ③ 同様に「案内3メッセージ」を流します。発呼者は同様にPB信号で番号を入力します。
 - ④ 入力された信号を基に、本装置は疑似ダイヤルイン信号(またはフッキング動作による内線信号)を作り、PBXに出力します。
 - ⑤ 転送先が話中や不在時は最大3箇所まで追っかけて転送ができます。
(追っかけ転送機能)
 - ⑥ 案内メッセージは最大3段階で、2段階にすることもできます。
- (3) ダイレクト転送モード
- ① ベル信号に应答すると「選択転送モード」と同様に、「挨拶メッセージ」、「総合案内メッセージ」が流れます。その後、「ダイレクト転送案内メッセージ」を流します。
 - ② 発呼者は、PB信号で転送先の内線番号等を入力します。
 - ③ 入力された信号を本装置はダイヤルイン信号(またはフッキング動作による内線信号として)としてPBXに出力します。
- (4) 無条件転送モード
- ① NTTのボイスワープ機能の「無条件転送」を利用して本装置を介すことなく転送先に転送します。
- (5) お待たせモード
- ① すぐに対応できない電話に対してあらかじめ設定したベル回数の後「お待たせ第1メッセージ」を流し、応対できるまで着信呼を保留します。本装置に接続された電話機やPBXには、本装置から継続してベル信号を送出します。
 - ② お待たせ中は、お客様にオルゴールや音楽を流します。また、お待たせ時間が長いと、お客様には別の「お待たせ第2メッセージ」を流します。
- (6) 応答専用モード
- ① ベル信号に应答すると最初に「挨拶メッセージ」つづいて「応答専用案内メッセージ」が流れます。
 - ② 「応答専用案内メッセージ」を指定回数流した後に「終了案内メッセージ」を流して回線を開放します。
- (7) 待機モード
- ① 本装置の応答解除時にベル信号が来るとあらかじめ設定した転送先に転送します。

2 転送方式

本装置には次の4種類の転送方式があります。

(1) ボイスワープ転送

NTTのボイスワープ機能を利用した方法で、着信呼を特定の外線へ転送します。「無条件転送」と、「応答後転送」があります。なお、この機能はINSボイスワープ・INS回線のフレックスホンではご利用になれません。

①無条件転送

着信呼を、あらかじめ設定した電話番号(外線)へ無条件で転送します。本機は、着信呼には応答しません。

②応答後転送

① 着信があると本機が応答し、転送先の案内メッセージを流します。流すメッセージは、内線転送と同様に、「選択転送モード」の場合は「挨拶」「総合案内」「選択転送案内」の各メッセージ、「ツリー転送モード」の場合は「挨拶」「総合案内」「案内1」「案内2」「案内3」のメッセージ、「ダイレクト転送モード」の場合は「挨拶」「総合案内」「ダイレクト案内」を流します。

② 発呼者はメッセージを基に転送先の番号をPB信号で入力します。

③ 本機は、入力された番号を基に、該当の外線へ転送します。

(2)ダイヤルイン転送

PBXに対してPBダイヤルイン信号またはモデムダイヤルイン信号を利用した方法で着信呼を転送します。

(3)フッキング転送

PBXの内線に接続し、PBXのフッキング機能を利用した方法で着信呼を転送します。

(4)ベルのみ

PBXに対して一般アナログ回線と同等のベル信号を流します。

3 年間タイマー機能

あらかじめプログラムしておくことにより、年間を通して自動的に各動作モードを切替えることができます。

- (1) 1日の動作状況を「曜日スケジュール」へ曜日ごとに登録します。
- (2) 各祝日の動作状況を「祝日スケジュール」に登録します。
- (3) その日だけの運用や毎年同じ月日の運用などの特定日ごとの動作状況を「特定日スケジュール」に登録します。

4 集計機能

本装置でカウントした着信件数や応答転送件数などを下記時間別に集計することができます。

- (1) 時間計 1時間の合計
- (2) 日計 1日の合計
- (3) 週計 1週間の合計
- (4) 月計 1ヶ月の合計

上記集計データは付属の登録・集計用メモリーカードまたはLAN経由で制御用パソコンにExcel形式で保存ができます。

5 制御用パソコンの機能

付属のデータ入力ソフトをインストールすることにより下記操作ができます。

(1) データ登録

本体初期設定、転送先電話番号、動作モード、年間タイマーなどの各データ登録ができます。

(2) 登録データの読み書き

作成したデータを登録・集計用メモリーカードに書き込んだり、本装置のデータを登録・集計用メモリーカードから読み込むことができます。

登録・集計用メモリーカードの読み書きは付属のカードライトアダプタ(CWA-100)を使用します。

(3) 集計データの読み込み

登録・集計用メモリーカードより集計データを読み込むことができます。

読み込んだデータはExcelファイルに自動変換します。

(4) メッセージカードの編集

本装置で録音した各種応答メッセージをメッセージ用メモリーカードから読み込んで下記操作ができます。

- ① 制御用パソコン上で再生
- ② ハードディスクにバックアップ
- ③ 別のメッセージ用カードに一括コピー
- ④ 本装置以外で作成したメッセージをメッセージ用カードへ書き込み

メッセージ用メモリーカードの読み書きは付属のカードライトアダプタ(CWA-100)を使用します。

6 LAN接続時の機能

本装置と制御用パソコンをLANに接続することより下記操作ができます。

(1) 登録データの読み書き

制御用パソコン上で作成した登録データの本装置への読み書き

(2) 集計データの読み込み

本装置でカウントした着信件数や応答転送件数などを制御用パソコンからの操作で収集ができます。

集計データの収集は手動と自動の2種類があります。

(3) 動作モニター

本装置の動作状況を制御用パソコンの画面上にリアルタイム表示します。

(4) 応答・タイマーのセット／解除

制御用パソコンから応答のセット／解除、タイマーのセット／解除ができます。

(5) マニュアル動作時の動作モードの変更

本装置の動作モードを制御用パソコンよりマニュアルで変更ができます。

7 外部からの応答セット

本装置後部の「外部制御接続端子」に、接点ロック式のスイッチを接続し本装置の動作をコントロールすることができます。

- (1) スイッチをONにするとあらかじめセットしてある応答のモードで動作を開始します。

(2) スイッチをOFFにすると、動作を終了します。

8 時刻の自動修正

本装置後部の「時刻修正接続(IN)端子」に無電圧マーク信号(ワンショットパルス信号)を入力することにより、本装置内蔵時計の「0秒あわせ」ができます。接点がONになると、内蔵時計が「0秒」になります。修正方法として以下の2方式が選択できます。

- ① ±10秒：毎分0秒±10秒の間に信号があると、0秒に修正します。
- ② ±30秒：毎分0～29秒の間に信号があると0秒に戻し、毎分30～59秒の間に信号があると1分先の0秒に進めます。

9 アラーム端子

本装置がアラーム状態になった時と、電源が供給されない時にアラーム端子より無電圧マーク信号(またはブレイク信号)を出力します。

離れた場所でアラームの監視をすることができます。

主な仕様

1 電話回線

LINE側収容可能回線	一般アナログ電話回線。 ナンバーディスプレイサービスに対応
TEL側シミュレーター	アナログダイヤルイン回線。 ダイヤルイン情報を「PB信号で送る」/「MODEM信号で送る」のいずれの方式にも対応。また、ナンバーディスプレイサービスにも対応。
収容回線数	6回線(初実装、最大24回線)
直流抵抗	約272Ω

2 録音・再生

録音媒体	フラッシュメモリーカード
サンプリング周波数	8kHz
サンプリング方式	μ -Law
録音時間	60分(メモリーカード JFC-60M)
マイク入力端子	600Ω 不平衡、-55dBm、3.5mmジャック
テープ入力端子	50kΩ 不平衡、0dBm、3.5mmジャック

3 制御入出力

アラーム接続端子	無電圧メーク/ブレーク接点出力 接点容量:DC30V, 500mA以下
時刻修正接続端子(OUT)	無電圧メーク/ブレーク接点出力 接点容量:DC30V, 500mA以下
外部制御接続端子	無電圧メーク接点入力、接点容量:DC10V, 10mA 最小ON時間:0.2秒以上
時刻修正接続端子(IN)	無電圧メーク接点入力、接点容量:DC10V, 10mA 最小ON時間:0.2秒以上
LAN接続端子	TCP/IP、10BASE-T/100BASE-TX

4 転送先

転送先登録数	最大100 (全転送モードで共通使用)
選択転送モードの転送先数	最大10 (1パターンあたり、追っかけ転送を含まず)
ソリート転送モードの転送先数	最大730 (1パターンあたり、追っかけ転送を含まず)
ダイレクト転送モードの転送先数	選択番号桁数による (最大8桁)
お待たせモードの転送先数	最大1 (追っかけ転送を含まず)

5 タイマースケジュール

1日内のステップ数	30ステップ
国民の祝日の登録数	16日 + 予備9日
特定日スケジュールの数	22種類

6 主なメッセージの種類

挨拶	1種類
総合案内	1種類
選択転送案内	20種類
ツリー案内1	2種類
ツリー案内2	18種類
ツリー案内3	162種類
ダイレクト転送案内	1種類
お待たせ案内	2種類
応答専用案内	10種類

7 電源

電源電圧	AC100V ± 10V、50/60Hz
消費電力	最大140W
定格入力電流	約1.9A
最大所要電力	約190VA

8 外形

寸法	430(w)×286(d)×177(h) 突起部を含む。ゴム足を除く。
重量	約11kg

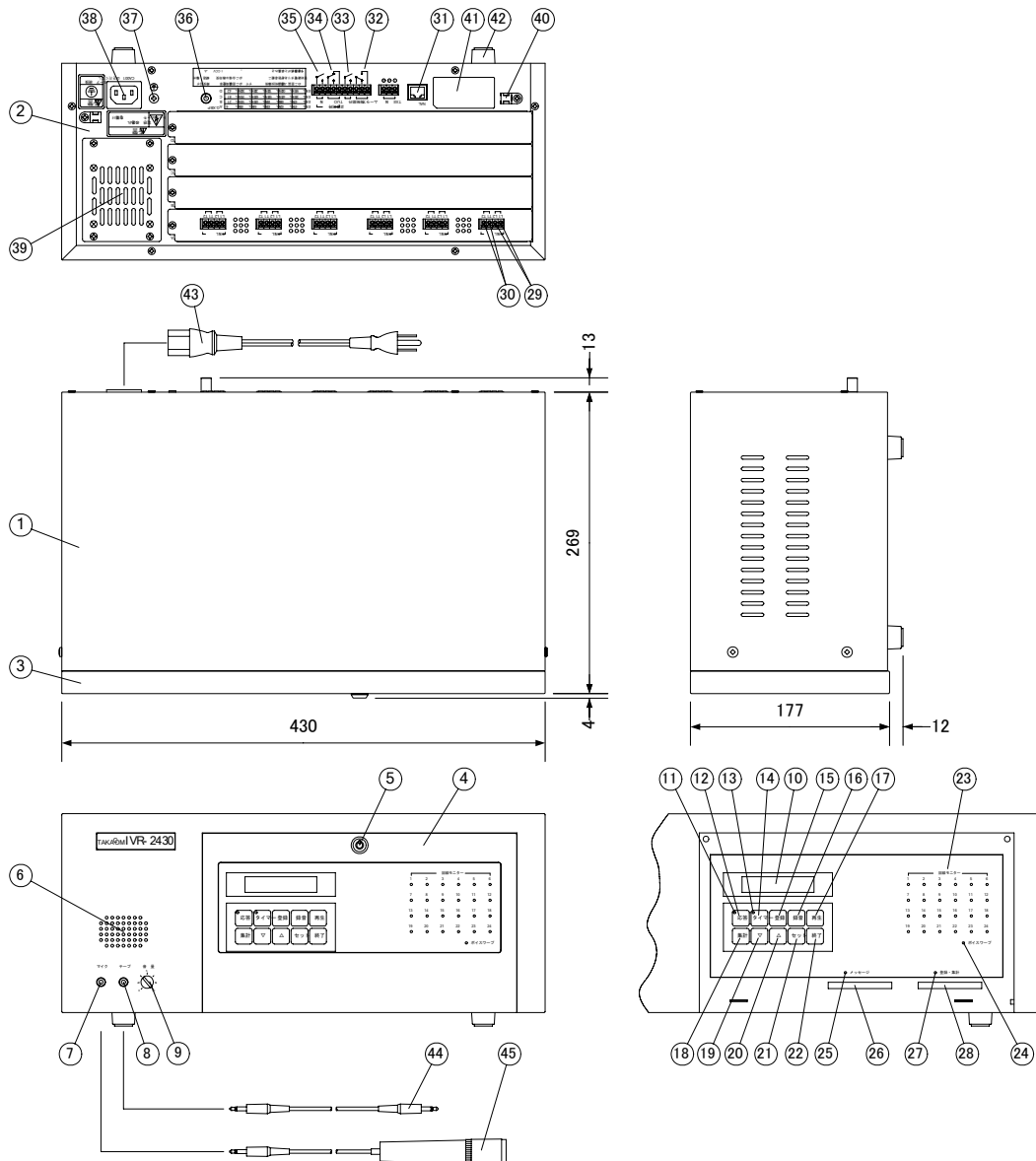
9 その他

停電時の時計バックアップ	10日間
データ作成ソフト対応OS	Windows2000 Professional /XP

添付品

電源コード.....	1	
フラッシュメモリーカード.....	2	(JFC-60M、KFC-60M)
CD-ROM	1	
カードライトアダプタ CWA-100.....	1	(USB接続コード付)
テープレコーダ接続コード	1	
マイク	1	
鍵.....	1	(操作カバー用)
取扱説明書(保証書)	1	

外観図



番号	名称	番号	名称	番号	名称
1	カバー	16	録音ボタン	31	LAN接続端子
2	ケース	17	再生ボタン	32	アラーム接続端子
3	フロントカバー	18	集計ボタン	33	外部制御接続端子
4	操作カバー	19	▽ボタン	34	時刻修正接続 (OUT) 端子
5	鍵	20	△ボタン	35	時刻修正接続 (IN) 端子
6	スピーカ	21	セットボタン	36	接地端子 (PBX G)
7	マイクジャック	22	終了ボタン	37	接地端子 (FG)
8	テープジャック	23	回線モニターランプ	38	AC電源コネクタ
9	音量ボリューム	24	ボイスワーブルランプ	39	ファン
10	ディスプレイ	25	メッセージ用メモリーカードアクセスランプ	40	コード止め
11	応答ランプ	26	メッセージ用メモリーカード挿入口	41	銘板
12	応答ボタン	27	登録・集計用メモリーカードアクセスランプ	42	ゴム足
13	タイマーランプ	28	登録・集計用メモリーカード挿入口	43	電源コード
14	タイマーボタン	29	回線 L端子	44	テープレコーダ接続コード
15	登録ボタン	30	回線 T端子	45	マイク